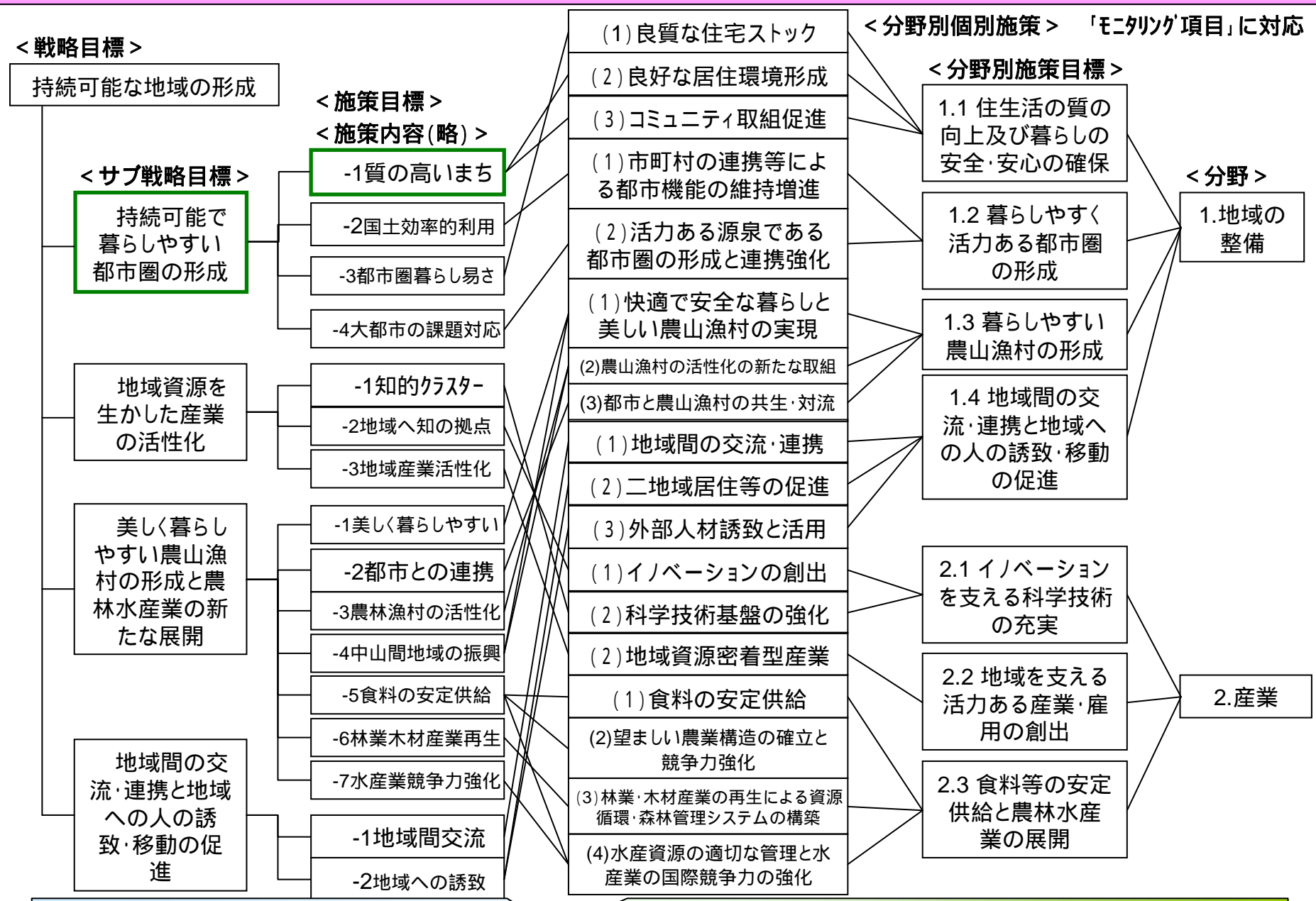


モニタリング項目・指標候補の検討結果 (戦略2 持続可能な地域の形成)

- (1) 目標・手段体系分析図・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) モニタリング指標候補抽出表・・・・・・・・・・・・ 2

目標・手段体系分析図 <戦略2 持続可能な地域の形成>



第1部 計画の基本的考え方

第2部 分野別施策の基本的方向

サブ戦略目標 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成(1/4)

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-1魅力的で質の高いまちづくり	・ユニバーサルデザインの理念に基づき、水・緑豊かでうるおいや景観に配慮した環境整備。(災害リスク、民間活力、地域の自主性を考慮)	・景観保全、緑化、ユニバーサルデザイン対応等に関する取組状況	・景観の保全・形成を目的とした独自条例制定状況	
			・電線地中化率	
			・道路の緑化率	
			・ハートビル法の認定建築物数	
	・地域固有の歴史や文化を再評価し生かしながら、地域への愛着の醸成やそこに暮らしたくなるような魅力を創出。	・地域有形文化財などの登録状況	・重要有形文化財等の登録数	
			・地域別産業遺産の件数	
	・都市の再生が必要な場合には、国はこれを支援。	・都市再生に関する取組の国の支援状況	・都市再生緊急整備地域の面積	×
	・多様な人材が集い、文化や知識が集積し、経済や交通の拠点である都市づくり。	・都市部における人、情報、経済、交通の集積度	・人口の転入超過数(圏域別)	
			・三大都市圏及び地方中枢・中核都市圏の人口増加率	
			・ブロック別道路率	×
・産業関連諸機能の従業者数等の割合(圏域別)				
・産業別付加価値伸び率				
		・産業別集積度(ジニ係数)		
国土形成計画第1部(戦略的目標)から抽出		国土形成計画第2部(分野別施策)から抽出		事務局による検討

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成(2/4)

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-2集約型都市構造への転換による国土の効率的利用	・円滑で機動的な都市交通体系の構築と、中心市街地に都市機能を集積する取組を重点的に支援。	・中心市街地の活性化に関する取組の支援状況	・中心市街地活性化計画策定自治体数	×
			・市街地再開発事業件数	×
	・既存ストックを活用した集約化。	・既存ストックの活用状況	・社会資本ストック総額・GDP比・分野別割合	
			・交通分野の社会資本ストックの一人当たりストック額・域内GDP比・10年間の伸び率(ブロック・圏域別)	
			・生活関連分野の社会資本ストックの一人当たりストック額・域内GDP比・10年間の伸び率(ブロック・圏域別)	
	・広域的な土地利用のあり方について検討。	・土地利用の変遷	・低・未利用地の状況	
			・都市開発事業実施数	×
		・郊外宅地開発状況	×	
・災害リスクを考慮した安全な国土利用への誘導。	・防災の面からの集団移転の実施状況	・防災集団移転促進事業実施件数	×	

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成(3/4)

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-3都市圏における暮らしやすさの確保	・一定の人口規模や公共交通等による適切な到達時間を考慮しつつ、市町村を越えた広域的な対応。	・公共施設へのアクセス状況	・1時間圏(2000年)人口、診療科目数、社会教育施設数、大学	
			・1時間圏域で見た生活関連サービス(社会教育施設・病院)	
			・生活行動者の中心都市への時間距離別に見た行動者比率	
	・多様な世帯への身近な生活支援機能については、多様な主体による共助の取組の回復・促進。	・地域づくりに関する多様な主体の参画状況	・地域づくりNPO団体数	×
			・自治会数	×
	・防犯・防災などの分野の、多様な主体の一層の参画。	・防犯・防災に関する多様な主体の参画状況	・「災害救済活動」を活動分野に挙げるNPOの認証数、災害ボランティア活動の状況	
			・自主防災組織率	
			・企業と応援協定を締結している自治体数	
			・自警団設立数	×
	・耐久性の高い住宅ストック、循環型住宅市場の整備、住み替え支援。	・中古住宅販売動向	・中古住宅流通量	×

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成(4/4)

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-4大都市特有の課題への対応	・ゆとりある生活空間の再整備、交通混雑の緩和、物流体系の充実等、「大都市のリノベーション」を推進。	・交通渋滞の改善状況	・鉄道の通勤通学時の最混雑区間における平均混雑率・輸送力・輸送人	
	・景観やユニバーサルデザインへの十分な配慮や、観光、産業や大規模な行事を念頭においた整備。	・景観保全、ユニバーサルデザイン対応に関する取組状況	・景観の保全・形成を目的とした独自条例制定状況(再掲)	×
			・電線地中化率、道路の緑化率(再掲)	
			・ハートビル法の認定建築物数、エレベーター・エスカレーターの設置駅(再掲)	
	・福祉施設の計画的整備のみならず在宅介護体制の充実。	・在宅介護の支援状況	・在宅介護支援団体数	×
	・ヒートアイランド現象への対応のほか、自然環境の保全・再生・創出、ゴミゼロ型都市への再構築、沿道等における良好な大気環境の確保、海面処分場の確保。	・ヒートアイランドなどの環境問題に関する取組状況	・二酸化窒素の一日平均値の年間98%値	
			・真夏日・熱帯夜数、みどり率、ガス使用量・電力・ガソリン販売	
	・既存ストックを活用しながら効率的に都市基盤の質を高める。	・既存ストックの活用状況	・社会資本ストック総額・GDP比・分野別割合(再掲)	
			・交通分野の社会資本ストックの一人当たりストック額・域内GDP比・10年間の伸び率(ブロック・圏域別)(再掲)	
			・生活関連分野の社会資本ストックの一人当たりストック額・域内GDP比・10年間の伸び率(ブロック・圏域別)(再掲)	

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 地域資源を生かした産業の活性化

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-1知的・産業 クラスター形成 の促進や特徴 ある産業の成 長・活性化	・陸海空の物流基盤などの整備 や既存の工業団地の活用	・産業クラスターから の物流基盤整備状況	・産業クラスターからの一日配達圏	×
	・グローバル化した産業活動の 合理化に資する産業立地を促 進。	・地域の産業立地環 境整備支援状況	・工場立地基準の基礎的自治体への権限委譲件 数(再掲)	×
-2地域へ成 果還元や大学 等の知の拠点 を核とした地域 づくり	・大学等を含め広く教育・研究の 振興を図る	・地域における教育 活動の状況	・20歳以上の人口に占める高学歴人口の比率・ 増加率(男女別、圏域別)	
			・自然科学系の技術者・研究者及び学部入学定 員数の分布(ブロック・圏域別)	
			・社会科学系の職業従事者(法務従事者等)及び 学部入学定員数の分布(ブロック・圏域別)	
			・人口千人当たり社会学級・講座の実施件数(ブ ロック・圏域別)	
	・産学官連携による新産業の創 出。	・産学協同事業による 特許等の取得状況	・TLOの設立件数と特許出願件数の推移(再掲)	
-3地域産業 の活性化	・文化・芸術に加え、自然環境、 景観、産業技術、産業遺産・施 設やスポーツ等を新たな視点で 活用し、地域ブランド力の強化・ 育成。	・地域ブランド確立に 関する取組状況	・地域団体商標登録数	×
			・分野別地域ブランド製品数と世界の産業分野 別市場成長率	×
	・世界の成長市場を視野に入れ た取組。	・世界の成長市場と 地域ブランドとの比較	・サービス産業の売上高	×
	・サービス産業の活性化。	・サービス産業の活 性化状況		

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開(1/2)

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-1快適で安全な暮らしと美しい農山漁村の実現	・自然環境に配慮した生産基盤と生活環境の一体的・総合的な整備。	・自然環境に配慮した生産基盤と生活環境の一体的総合的な整備状況 ・高度な情報通信基盤の整備状況 ・自然災害に対して安全・安心な農山漁村の形成状況	・生産、生活基盤(農道、污水处理施設、情報通信等)の整備量・率	×
			・森林や農地等の保全管理率	×
			・災害、鳥獣被害等発生数	×
			・防災対策、施設等状況	×
	・美しい計画を維持・回復する取組みを推進。	・美しい景観の維持・回復に関する取組み状況	・景観向上、伝統継承等に関する取組数	×
-2都市との相互の機能分担・連携	・食料や木材の安定供給、豊かな自然環境の提供。	・食料や自然環境を対象とした都市と農山漁村の交流状況	・グリーーツーリズム等都市と農山漁村の交流人口と取組む事業数や団体数等	
			・市民農園の数	
			・都市住民の農山漁村への理解度	×
-3農山漁村の活性化	・地域固有の資源を最大限に活用	・農林水産物や地域の資源を活用した多様な産業の育成状況	・地域の創意工夫と努力による活性化のアイデア、取組数	×
			・地域の特産物、ブランドの数	×
	・地域外部の人材等の資源の活用	・地域内外の多様な人材の能力を活かした取組の拡大状況	・地域外からの人材の活用数	×
			・再挑戦の人口	×
-4中山間地域の持続可能な地域づくり	・条件が不利な地域への施策展開。	・農業生産条件の不利を補正する施策の実施状況	・中山間地域における集落数、人口、限界集落数・率	×
			・中山間等直接支払制度等の取組数や優良事例数	×
	・持続可能な地域づくり。	・個性ある持続可能な地域づくりの支援等	・地域の創意工夫による持続可能な地域経営の仕組づくりの数	×

)『 』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開(2/2)

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)			
-5国内農業の生産性向上と食料供給力の確保	・食品産業その他の関連産業との連携	・食料自給率と輸入量 ・食の安全の確保と食育や地産地消の状況 ・食品産業その他の関連産業との連携状況 ・農産物等の新たな市場の創出と食料生産の枠を超えた農業の新たな展開状況 ・我が国の高品質な農産物の特性を活かした輸出の促進状況	・食料自給率	×			
			・食料の輸出、輸入量、額、備蓄量	×			
			・食の安全指数	×			
			・食育の普及人口	×			
			・地産地消事例数	×			
			・農業と食品産業の連携事例数	×			
			・農産物新市場販売額	×			
	・生産基盤の整備・保全	・生産基盤の整備状況 ・農業人口と経営状況 ・幅広い人材の活用状況 ・技術開発、知的財産保護状況	・生産基盤の整備率	×			
			・農業の担い手数と経営状況	×			
			・地域外への就農人口	×			
			・農業に関する新技術登録数	×			
			・知的財産権登録件数	×			
			-6林業と木材産業の一体的再生	・国内の森林資源の充実や木材利用等に関連する技術開発の進展	・収益性の高い林業生産活動の促進状況 ・木材産業の競争力 ・国内で適切に整備・保全された森林から生産された木材利用状況	・素材生産業者の収益	×
						・林業粗生産額	×
・国内木材消費量のうち、国内生産量の占める割合	×						
-7水産物の安定供給と力強い水産業の確立	・水産資源の回復・管理の推進	・水産資源の管理に関する取組み	・漁獲可能量及び漁獲努力可能量	×			
			・各産地の売上高と物流コスト	×			
	・収益性重視の操業生産体制への移行や流通の効率化	・漁業経営体の育成・確保と産地の販売力強化	・漁港・漁場等の整備費用に対する水揚げ量	×			
	・漁港・漁場等生産基盤の強化	・漁港、漁場の総合的整備等					

)『 』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行)
-1地域間の交流・連携の促進	・複数の地域間で人・物・資金・知恵・情報の双方向的な循環を形成し、ないところを相互に補いあう。	・地域間の人、物、資金、情報の流動量	・府県間の人々の流動量	
			・府県間の物の流動量	
			・府県間の通話の流動量	
	・地域間の交流・連携を促進。	・地域間の連携体制構築状況	・行政境界を越えた連携体制構築状況	×
	・地域の維持・活性化に向けた広域的な取組につなげる。	・地域の維持・活性化に向けた広域的な取組	・地域の維持・活性化に向けた広域的な取組の状況	×
・交通・情報通信体系について、地域の特性に応じ真に必要なサービスを実現するための効果的な投資のあり方を、広域的な視点も踏まえつつ、地域が自ら選択していく。	・交通・情報通信分野への投資状況と投資効果	・1時間圏域で見た生活関連サービス(社会教育施設・病院)(再掲)		
		・ブロック毎の交通・情報通信分野の投資額・利用率(利用実績/容量)、満足度	×	
-2地域への人の誘致・移動の促進	・地域間での人の交流を進め、地域づくりの担い手となる人材の確保	・地域間での人の交流状況	・交流人口	×
	・「二地域居住人口」、「交流人口」、「情報交流人口」といった多様な人口の視点を持った地域への人の誘致・移動を促進。	・交流人口などの多様な人口の状況	・二地域居住人口	×
			・情報交流人口	×
・地域外部の専門的能力を持った人材を積極的に活用する。	・地域づくりで活躍している地域外部からの人材の状況	・地域づくりで活躍している地域外部からの人材の状況	×	

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。